

常滑市雨水出水浸水想定区域図【想定最大規模降雨】No. 2

対象区域	確率年	降雨強度
常滑市下水道計画区域 (令和5年4月1日時点)	1000年	1時間最大降雨強度: 147mm/h

「想定最大規模降雨」とは、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が概ね1/1000 (0.1%)以下の降雨です。

雨水出水浸水想定区域図とは、一時的に大量の降雨(想定最大規模降雨)が生じた場合、この降雨が下水道・河川に排水出来ないことよって発生が予想される浸水(「内水浸水」といいます。)について、その区域と水深を示したものです。

1. 概要説明

(1) この図は、常滑市の下水道計画区域内(令和5年4月1日時点)において、水防法の規定に基づく想定最大規模降雨が発生した場合に、浸水が想定される範囲やその深さを示した図面です。

(2) この図は、令和5年度末時点の常滑市の下水道等の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨(1時間雨量147mm、24時間総雨量590mm)により内水氾濫が発生した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより予測したものです。

(3) この図において、水防法第14条の2第2項の規定により定められた雨水出水浸水想定区域は、公共下水道等の排水区域のうち浸水が想定される区域(着色部)で示しています。

(4) シミュレーションの実施にあたっては、指定の前提となる降雨を超える規模の降雨、津波、高潮、河川の破壊や越水による氾濫を考慮していませんので、この図での想定を超える浸水が発生する可能性があります。

2. 基本事項等

(1) 作成主体 常滑市
 (2) 指定年月日 令和6年6月3日
 (3) 指定の根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号)第14条の2第2項
 (4) 指定の前提となる降雨 想定最大規模降雨(1時間雨量147mm、24時間総雨量590mm)
 (5) 対象となる範囲 下水道計画区域内(令和5年4月1日時点)
 (6) 浸水想定手法 降雨損失・表面流出・管内水理・氾濫解析を一連で実施
 対象区域を約100m2のメッシュに分割し、メッシュごとの浸水深を計算しています。地盤高は、平成30年度のデータを使用しています。潮位波形のピークは計画高潮位(3.58m)とし、降雨波形のピークと重なるように設定しています。

3. 備考

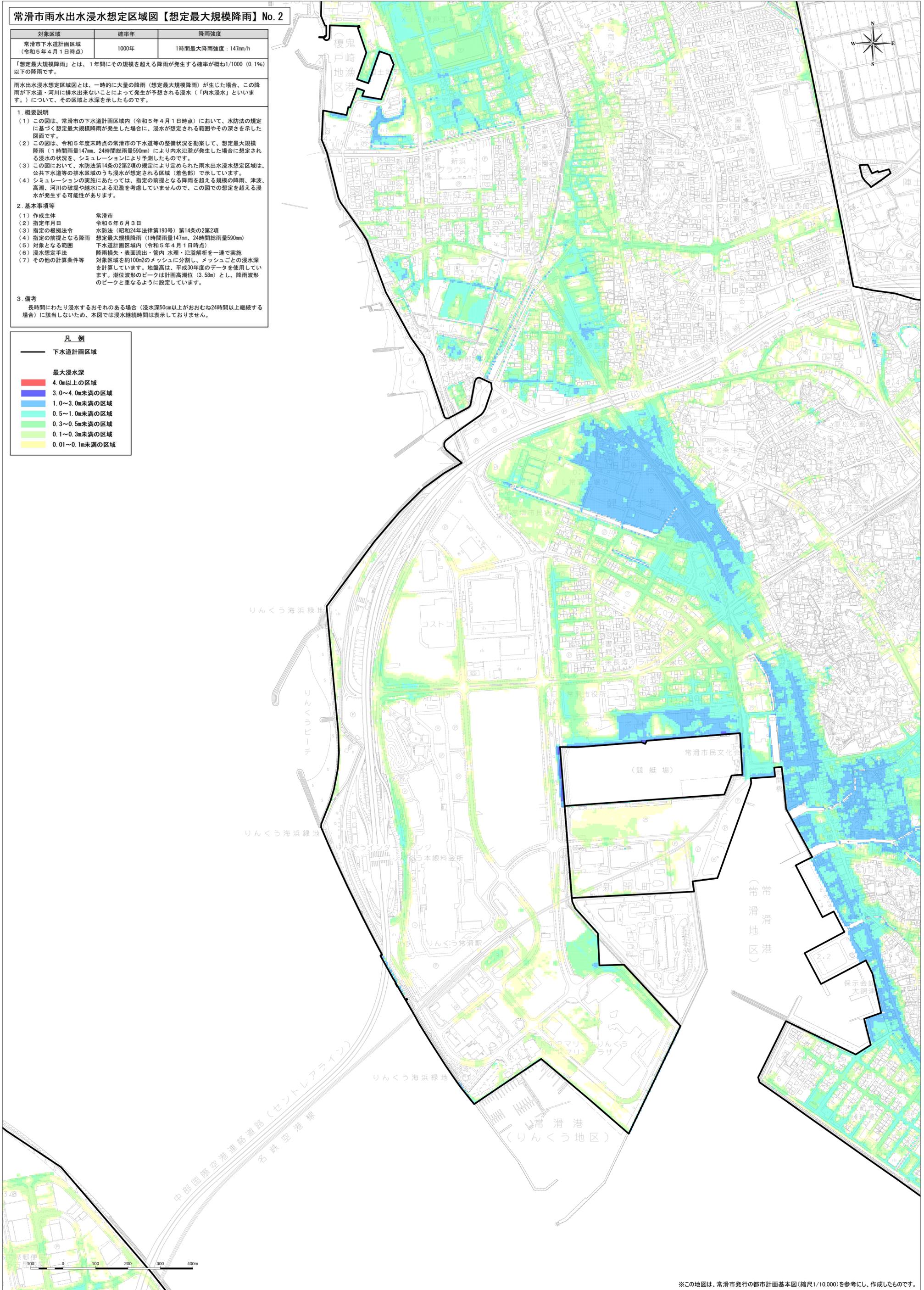
長時間にわたり浸水するおそれのある場合(浸水深50cm以上がおおむね24時間以上継続する場合)に該当しないため、本図では浸水継続時間は表示していません。

凡例

— 下水道計画区域

最大浸水深

- 4.0m以上の区域
- 3.0~4.0m未満の区域
- 1.0~3.0m未満の区域
- 0.5~1.0m未満の区域
- 0.3~0.5m未満の区域
- 0.1~0.3m未満の区域
- 0.01~0.1m未満の区域



※この地図は、常滑市発行の都市計画基本図(縮尺1/10,000)を参考にし、作成したものです。